

2014年1月：教育評価研究会調査
2014年1月20日

日本社会福祉教育学会
会員の皆様

学会指定研究「教育評価研究会」
代表 杉山克巳・宮嶋 淳

本会会員の教育評価の現状に関する調査について(ご依頼)

前略 いつもたいへんお世話になります。

ご存知のとおり本学会指定研究「教育評価研究会」は、研究期間：2013年度～2015年度の3か年間で、研究を進めています。研究の進捗状況は本会NL第〇号で報告しているところです。

この度、本研究会の主題を会員の皆様のニーズに即して確定させていくため、本調査を実施させていただくこととなりました。

是非とも別紙をご記入の上、FAX又は郵送にて担当理事までご返信くださいますよう、お願いいたします。また、本会ホームページ並びに担当理事のWEBサイトにも書式を掲載しておりますので、ダウンロードされ、E-mailに添付いただき、送信して頂くことも可能です。

本学会のみならず、学術としての社会福祉の生き残りをかけて、皆様のご協力を賜りたくお願い申し上げます。どうぞ、よろしく申し上げます。

記

- 1、回答目安日 : 2014年1月末日
2、回答提出先 : 担当理事 宮嶋 (中部学院大学)
〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘2丁目1番地
E-mail : miyaji@chubu-gu.ac.jp
FAX&TEL : 0575-24-9384

http : http://web2.chubu-gu.ac.jp/blog/web_lab/miyajima/index.html

以上

【調査の目的】

この調査は、日本社会福祉教育学会の会員の皆様を対象として実施するものです。本学会の指定研究としての性格から、お寄せ頂いた回答並びに集計データは本会並びに社会福祉教育学の発展のため以外の目的に使用することはありません。

この調査は、社会福祉教育課程を担っている本会会員が如何に自身の教育実践を評価しているのか、如何なるシステムと内容のもとで評価されることを受け入れているのかという現状を把握することを第一の目的とします。会員の教育実践における評価の現状を調査し、主観的評価と客観的評価システムと当事者である学生の評価とを凸合させ、教育並びに教育評価に関する三者のニーズを明らかにすることを目的とします。また今後、本教育評価研究を進展させていく上でのエビデンスを蓄積することをめざします。

学会指定研究「教育評価研究会」

代表 杉山克巳・宮嶋 淳

【調査項目】

Q 1. 貴方の学部・学科におけるシラバスの取り扱いについて教えてください。

1-1. シラバス（授業計画）を公開していますか(1つ選んでください)

ア)学内専用ホームページで公開している イ)一般ホームページで公開している

ウ)紙媒体で学生に配布、公開している エ)公開していない オ)その他:

1-2. シラバスに成績評価の基準を明示していますか(該当するものすべて選択)

ア)明示している(種別: 講義・演習・研究系演習・実習) イ)明示していない

1-3. シラバスをチェックする学内システムがありますか

ア) ない イ) ある ⇒ 具体的な機関:

⇒ 具体的な方法:

Q 2. 学科・学部のカリキュラム・ポリシーについて

2-1. カリキュラム・ポリシーを理解していますか。

2-2. カリキュラム・ポリシーは所属する学科の実情に対応していますか。

ア)十分対応している イ)まあ対応している ウ)何ともいえない

エ)改善の余地あり オ)全く対応していない

Q 3. 授業に関する自己評価など。

3-1. 授業を学生以外に公開したことはありますか。

ア) ない イ) ある ⇒ 具体的な方法:

⇒ 公開した理由:

3-2. 上記で「イ) ある」の方。その際の評価を受けられましたか。

3-3. 他の教員の授業を聴講する機会は保障されていますか。

- ア) ない イ) ある ⇒ 具体的な方法:
⇒ 公開された理由:

3-4. その際に授業を評価したことがありますか。

- ア) ない イ) ある ⇒ 具体的な方法:

3-5. あなたは、ご自身の授業をどのように評価していますか

- ア) 優 イ) 良 ウ) 可 エ) 落第 ⇒その理由:

Q 4. 評価に関する学生の参加について

4-1. テストやレポートをフィードバックしていますか

- ア)はい イ)ケース・バイ・ケース ウ)いいえ

4-2. 学生による授業評価は実施されていますか。

- ア)はい イ)ケース・バイ・ケース ウ)いいえ

4-3. 学生による授業評価は公表されていますか。

- ア)はい イ)ケース・バイ・ケース ウ)いいえ

4-4. 学生による授業評価を翌年の授業に如何に反映させていますか。

- ア)はい イ)ケース・バイ・ケース ウ)いいえ

4-5. 学生による授業評価の意味を教員間で共有していますか。

- ア)はい イ)ケース・バイ・ケース ウ)いいえ

4-6. 差支えなければ、貴学の「学生による授業評価様式」をご提供ください。

- ア)了解 イ)困難 ウ)提供のための条件あり

Q 5. アンケートにお答えいただく際にイメージされたクラス規模は、次のうちどれですか。

- ア)20人未満 イ)20人～40人未満 ウ)40人～60人未満 エ)60人～100人未満 オ)100人以上

Q 6. 授業で、私語を減らし、集中させる貴方のテクニックを教えてください。

Q 7. 授業を高めるためにどのような工夫をしています。

Q 8. 今後の研究会について

- ア)インタビューに答えても良い イ)研究会に参加したい
ウ)研究会の活動に興味を持った エ)特に関心がない

Q 9. 「教育評価」という言葉からイメージされることをご自由にお書きください。

＝ご協力ありがとうございました＝